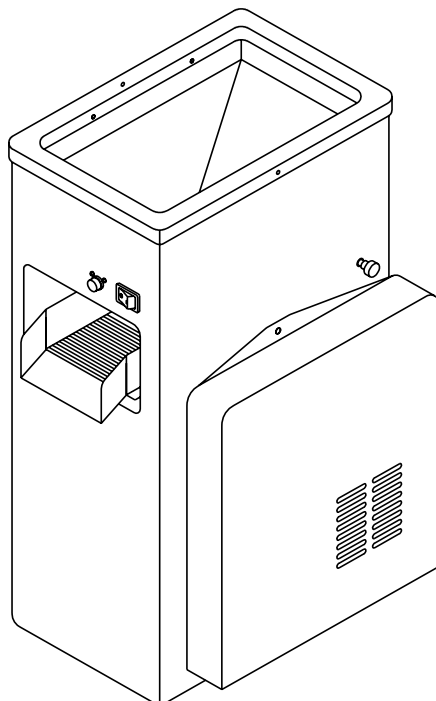


## ストーンピッカーMINI-150A

### 取扱説明書



この度は、マルマス石抜機”ストーンピッカーMINI-150A”をお買い上げ頂き厚くお礼を申し上げます。  
ご使用前には取扱説明書を熟読され、末長くご愛用下さい。  
尚、不明瞭な点がありましたら販売店もしくは当社にお問合せ下さい。



**警告**

- ◎この取扱説明書を熟読され十分に理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。
- ◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

## 重要なお知らせ



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- ◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、当社及び販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。  
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。  
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。  
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は購入店にお問合せください。
- 3) この取扱説明書において、万一ページの乱丁や落丁などがあつた場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが当社又は購入店までご連絡ください。



- ◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従ってください。  
もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は購入店にお問合せて回答を得るまで作業を進めないで下さい。

# 目 次

## 1.危険防止のために

- 1-1 警告用語の種類と意味 ..... 1
- 1-2 本機の使用にあたっての諸注意 ..... 2
- 1-3 警告表示ラベルと注意表示ラベルの内容と貼付位置 ..... 4

## 2.製品の概要

- 2-1 主要諸元 ..... 5
- 2-2 各部の名称 ..... 5
- 2-3 電気配線図 ..... 6

## 3.運転と操作

- 3-1 本機の設置に関して ..... 7
- 3-2 運転方法 ..... 7
- 3-3 石の取り出し方 ..... 8
- 3-4 玄米以外での使用のとき ..... 9

## 4.日常のお手入れ

- 4-1 石抜金網及びホッパーシャッターの掃除 ..... #
- 4-2 石抜機のコリ・糠の掃除 ..... #
- 4-3 ベルトの張り方 ..... #

## 5.トラブル処理




- 5-1 機械が不調の場合 ..... #

# 1.危険防止のために

## 1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。  
この警告ラベルでは危険度の高さ(又は事故の大きさ)に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容(指示)に従って下さい。

 <b>危険</b>	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 <b>警告</b>	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 <b>注意</b>	存在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

### **警告**

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)

# 1.危険防止のために

## 1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 <b>注意</b>	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 <b>警告</b>	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電気的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 <b>警告</b>	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。(ラベルは有償となっております)
 <b>警告</b>	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。本機の性能を十分に発揮できず安全上支障をきたす場合があります。
 <b>警告</b>	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業をしてください。守らずに作業するとケガをする場合があります。
 <b>警告</b>	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用してください。
 <b>注意</b>	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。


## 1.危険防止のために


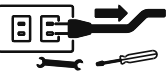

 <b>注 意</b>	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。
 <b>注 意</b>	水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 感電・漏電・火災の原因となります。
 <b>注 意</b>	電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。
 <b>警 告</b>	改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
 <b>警 告</b>	本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。
 <b>警 告</b>	電源プラグの刃(プラグ先端)及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。 火災の原因となります。
 <b>警 告</b>	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
 <b>警 告</b>	指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
 <b>警 告</b>	電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
 <b>警 告</b>	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。 感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

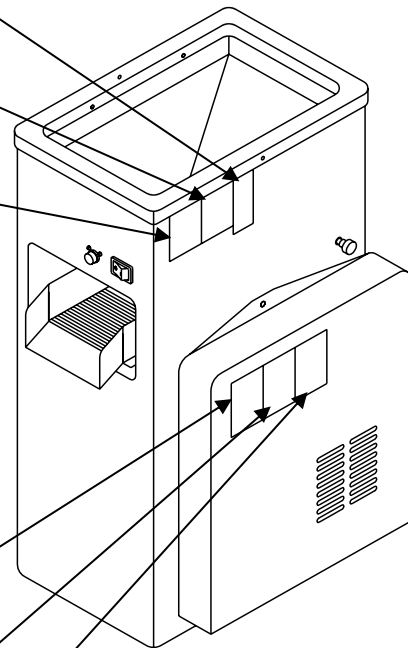
※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守ってください。

# 1.危険防止のために

## 1-3 警告表示ラベルと注意表示ラベルの内容と貼付位置

⚠ 注意	
	<p>運転中は可動部に接触しないで下さい。怪我します。</p>
	<p>運転中及び運転直後は、モータに触らないで下さい。やけどをすることがあります。</p>
	<p>運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転して下さい。</p>

⚠ 警告	
	<p>運転中はカバーを開けないで下さい。回転部に接触すると怪我をします。</p>
	<p>点検、修理及び停電の時は、危険防止の為必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</p>
	<p>感電防止の為、カバーを開く時は必ず電源プラグをコンセントより抜いて下さい。</p>

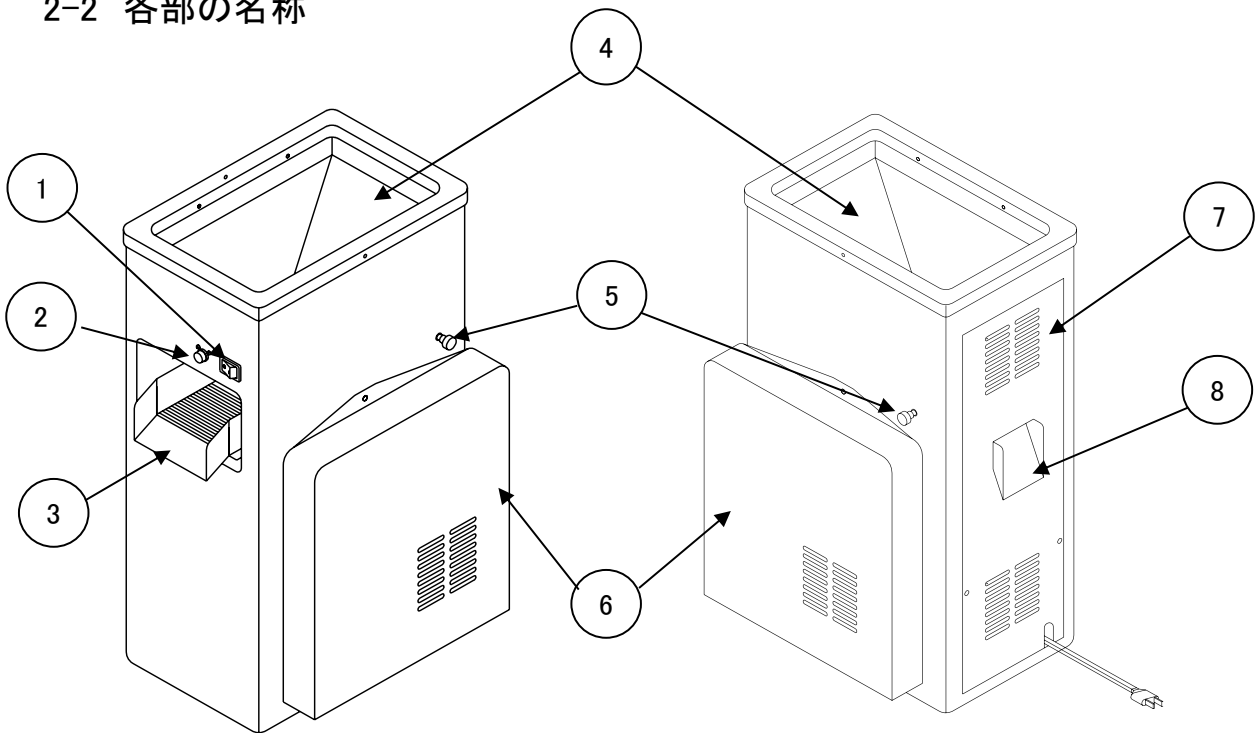


## 2.製品の概要

### 2-1 主要諸元

項目	仕様
型式	ストーンピッカーMINI-150A
能力	玄米150Kg/h
全長	308mm
全幅	245mm
全高	547mm
米排出高さ	311mm
石/残米排出高さ	282mm
本機重量	17.5Kg
ホッパー容量	玄米3Kg
所要動力	単相100V 100W

### 2-2 各部の名称

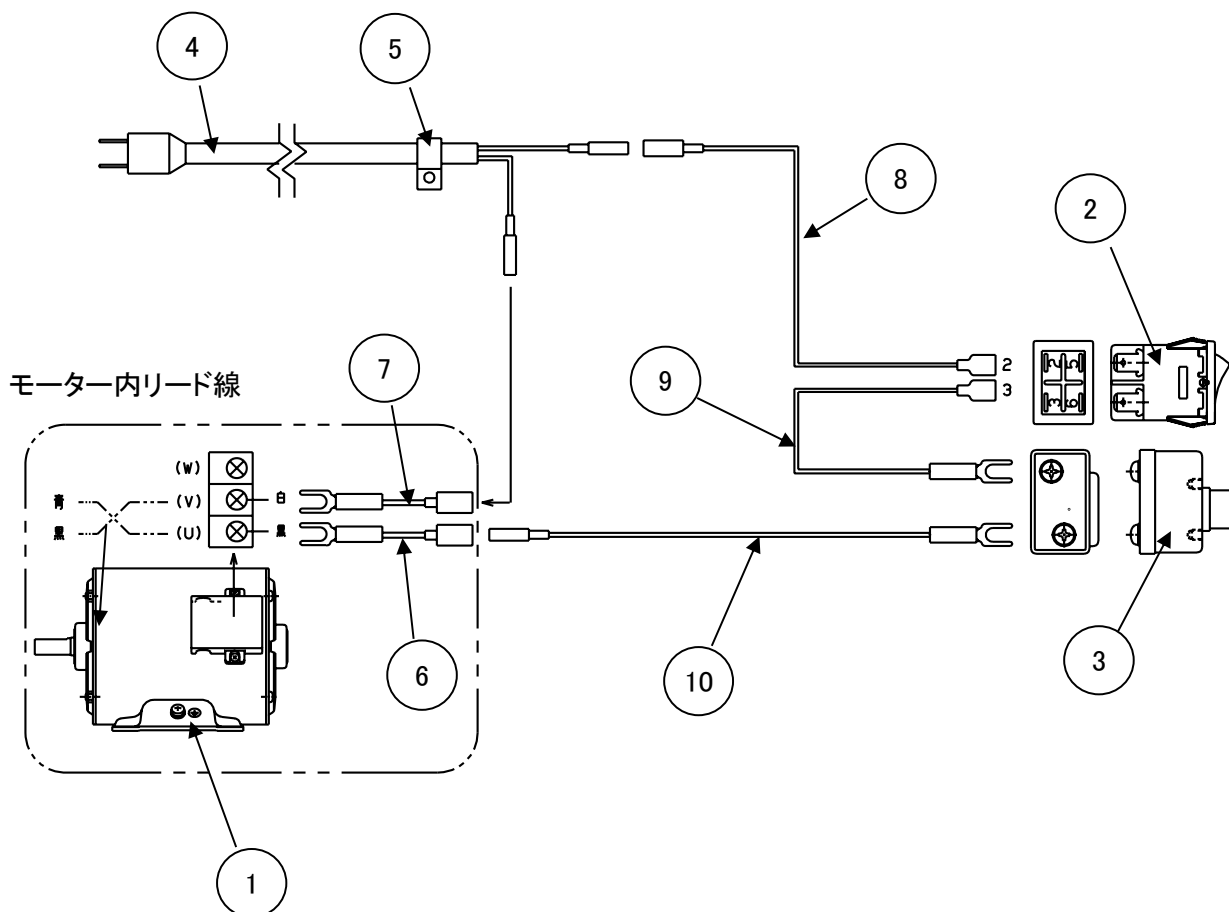


番号	名称	番号	名称
1	運転スイッチ	5	石/残米排出シャッター
2	サーマルプロテクター	6	プーリカバー
3	石抜金網	7	後カバー
4	張込ホッパー	8	石/残米排出口



## 2.製品の概要

### 2-3 電気配線図



番号	名 称	番号	名 称
1	100Wモーター	6	モーターリード線(黒)
2	運転スイッチ	7	モーターリード線(白)
3	サーマルプロテクター	8	単線(A)
4	プラグ付コード	9	単線(B)
5	コードクランプ	10	単線(C)

## 3. 運転と操作

### 3-1 本機の設置に関して

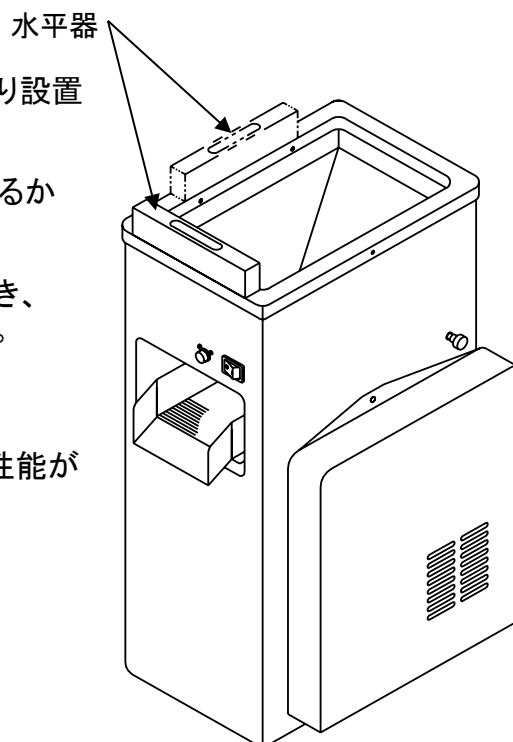
1) 所定の位置に設置しましたら本機を揺さぶり設置面にガタツキが無いことを確認して下さい。

(ガタツキがあった場合は他の場所に設置するか設置面を修復して下さい)

2) 水平器を右図に示すようにタンクの上に置き、本機の左右・前後の水平を確認して下さい。

注意: 本機が水平でない。  
本機設置面にガタツキがあると石抜き性能が低下します。

注意: 水平器は付属されていません。



### 3-2 運転方法

1) 米排出口の下に米を受ける容器を用意します。

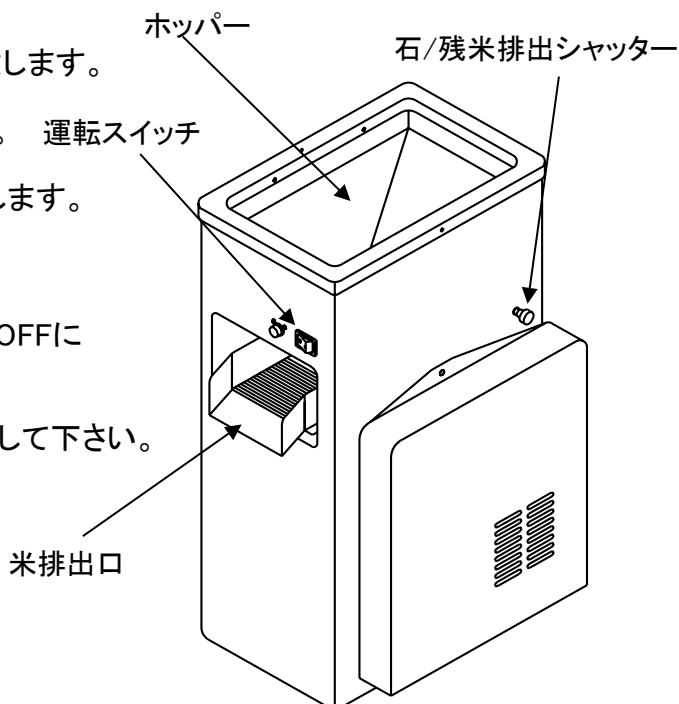
2) 石/残米排出シャッターを閉めて下さい。 運転スイッチ

3) 運転スイッチをONにする。運転を開始します。

4) ホッパーに米を張り込みます。

5) 石抜きが終了しましたら運転スイッチをOFFにして下さい。

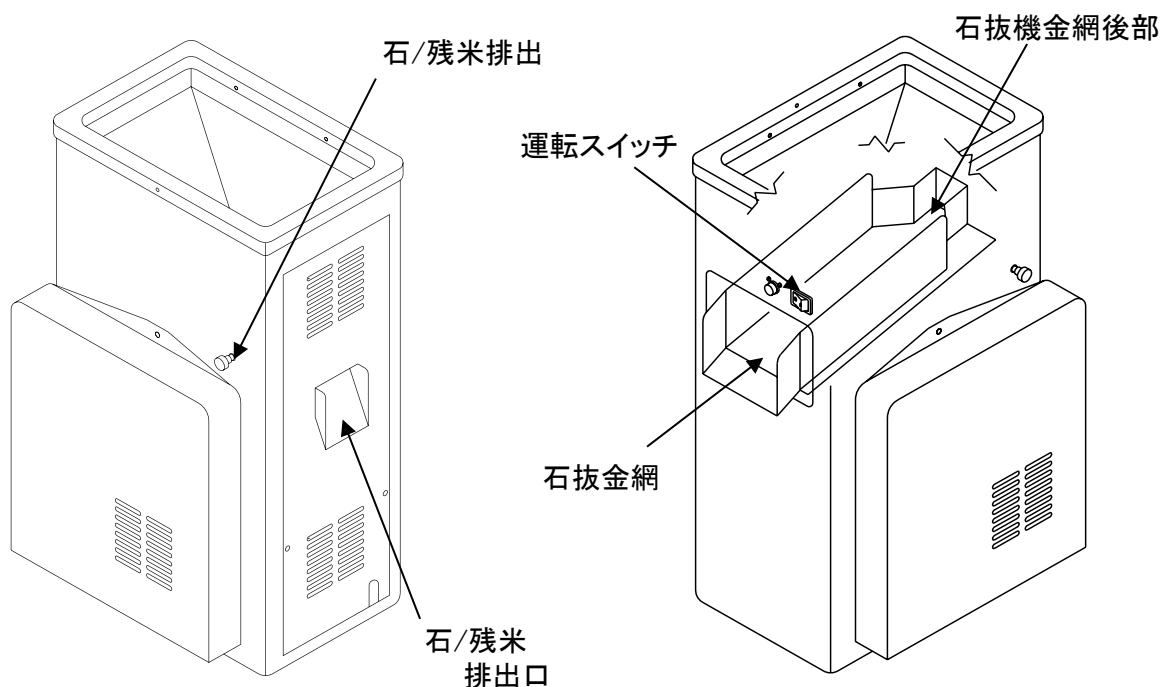
6) 石抜き機金網上に残った残米と石を排出して下さい。  
(3-3: 石の取り出し方参照のこと)



## 3. 運転と操作

### 3-3 石の取り出し方

石は石抜機金網後部に集まります。  
石及び残米は本機を作動させないと取り出せません。  
下記に示す手順で石を取り出して下さい。



- 1) 運転スイッチをONにし本機を作動させます。
- 2) 石抜機後面の石/残米排出口に石を受ける容器をセットします。
- 3) 石抜機右側面の石/残米排出シャッターを引きます。

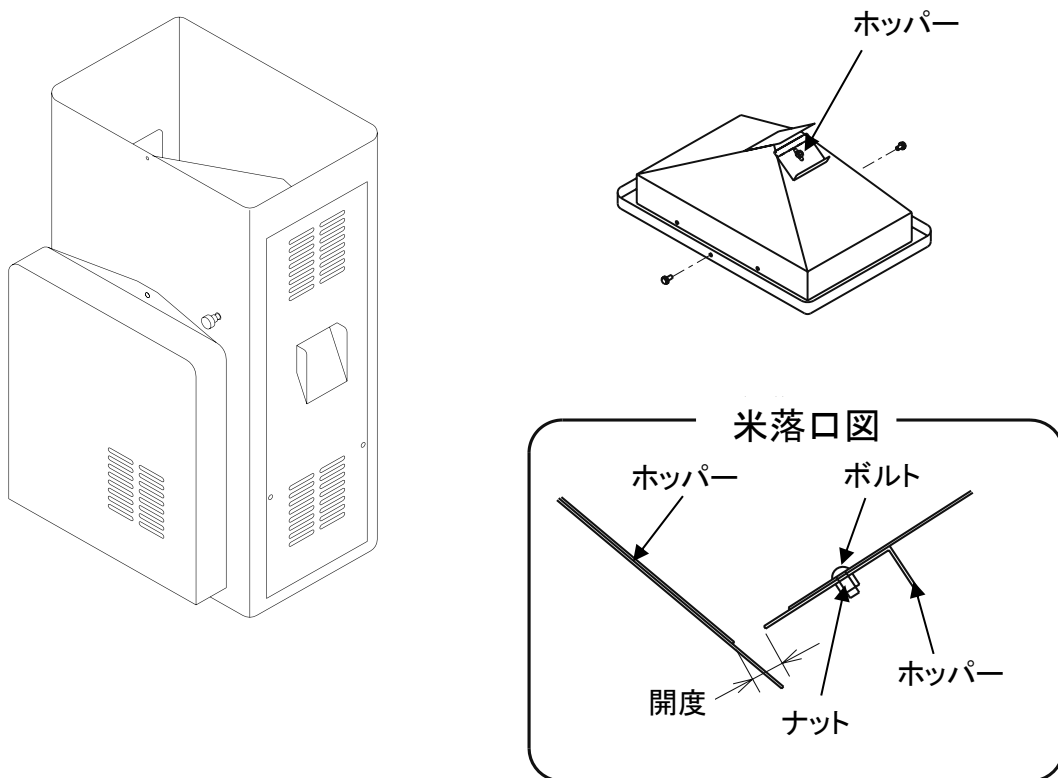
本機作動中に石/残米排出シャッターを引くと、石/残米排出口より金網後部にたまった石が残米と一緒に排出されます。

- 4) 最初は石と残米が混ざって出てきます。  
石抜網上の残米をすべて排出します。
- 5) 残米の排出すべて終わりましたら石/残米排出シャッターを閉めてください。
- 6) 運転スイッチをOFFにして本機を停止させて下さい。

### 3.運転と操作

#### 3-4 玄米以外での使用のとき

本機は工場出荷時、玄米にて選別を行なうように調節(ホッパーシャッターの開き具合)されております。粳・そばなどを行なう場合はホッパーシャッターの開度が少ない(落下量が少ない)ので下に示す表を参考に、ホッパーシャッターの能率(開度)を調節して下さい。石が取れにくい場合は、能率(開度を少なく)を下げて下さい。



	能率(開度mm)
玄米	150Kg/h(約11mm)
白米	100Kg/h(約9mm)
粳	120Kg/h(約17mm)
そば	100Kg/h(約11mm)

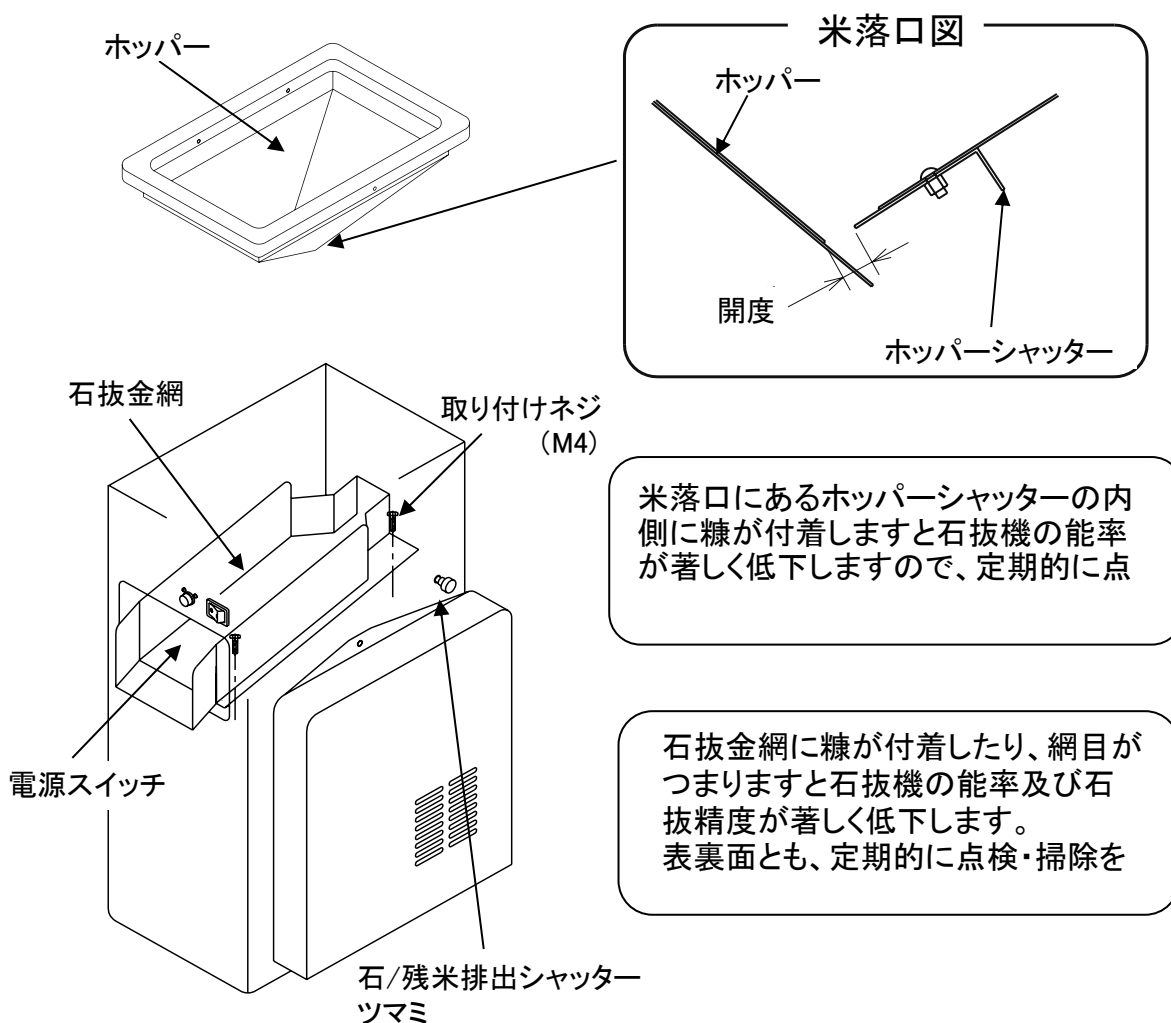
注意：  
石が取れにくい場合は、  
能率を(開度を小さく)低く  
して下さい。

## 4. 日常のお手入れ

### 4-1 石抜金網及びホッパーシャッターの掃除

石抜金網に糠が付着し網目が詰まったり、米落口とホッパーシャッターの内側に糠が付着しますと、石抜機の能率及び石抜精度が著しく低下します。定期的に掃除してください。

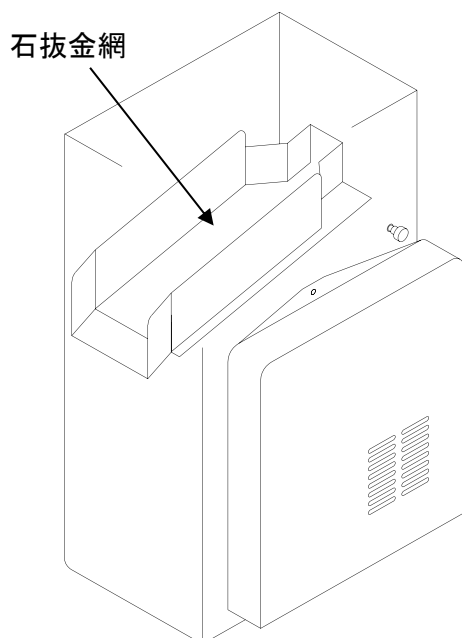
- 1)ホッパー横の2本のネジを外しホッパーを取り外して下さい。  
ホッパー裏側のホッパーシャッターを布等で掃除して下さい。
- 2)石抜金網の取り付けネジ4本を外し、石排出シャッターツマミを外し金網を取り出して下さい。(ネジを取る時、運転スイッチを後からツマミ、前に押し出し外して下さい。)  
金網は、表裏両面に付着した糠を掃除して下さい。
- 3)掃除が終わりましたら取り付けネジで金網を固定し、ホッパーも取り付けして下さい。



### 3.運転と操作

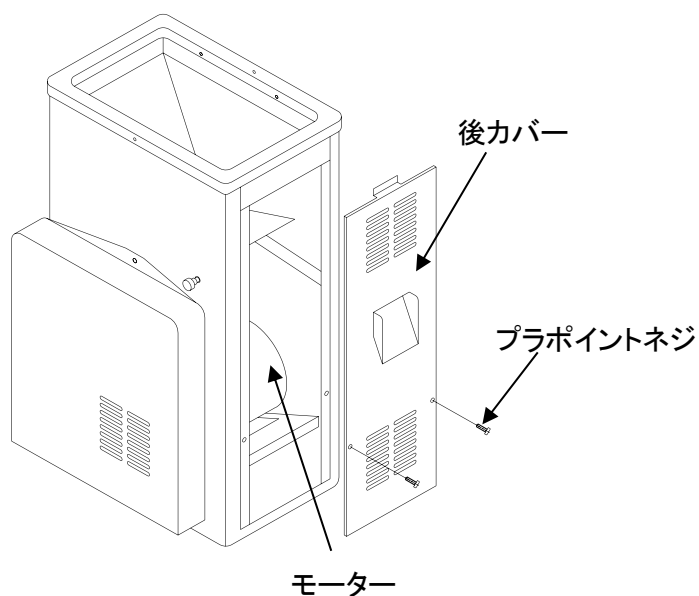
#### 4-2 石抜機の本ホコリ・糠の掃除

石抜機を長時間又は大量に使用しますと米の本ホコリ・糠等が石抜機内部に蓄積します。蓄積した本ホコリ・糠等が石抜装置の振動部に接触しますと本機に悪影響を与えます。定期的に点検・掃除して下さい。



石抜機を長時間又は大量に使用しますとファンで吹上げられた米の本ホコリ・糠等が石抜機内部に蓄積します。石抜装置のモーター等電装部に蓄積しますと故障の原因に繋がりますので定

- 1) 金網から吹上げた本ホコリは、下部のモーター部に蓄積されます。
- 2) 後カバーのプラポイントネジを外し、後カバーを外して下さい。
- 3) 後カバーを外しますとモーターが見えますので掃除機等で掃除して下さい。



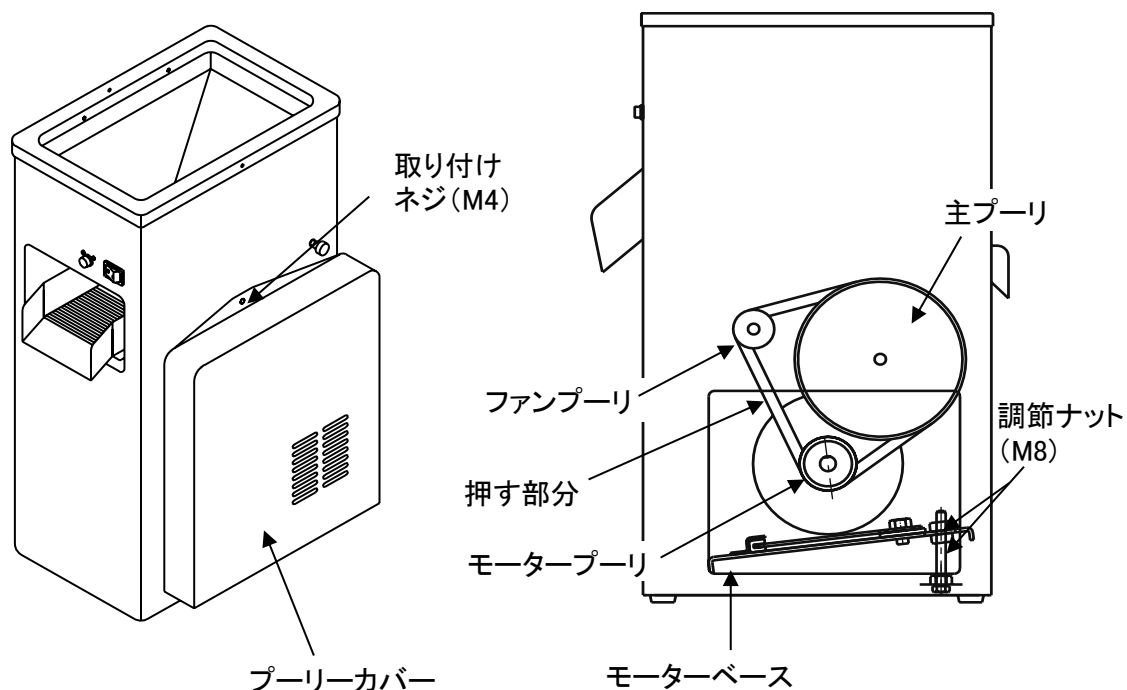
## 4. 日常のお手入れ

### 4-3 ベルトの張り方

ベルトが緩みますと本機の石抜装置が正規の回転数を得られず能率・石抜精度の低下につながり、また本機の過負荷状態を引き起こす原因となります。

ベルトの点検は本機運転前に必ず行なって下さい。

ベルトが緩んでいる時は下記に示す手順でベルトを張って下さい。



- 1) 石抜機右側側面ネジ(M4)を外し、プーリカバーを取り外します。
- 2) プーリカバーを取り外しますと、上右図に示すように石抜装置の伝動部があります。
- 3) 調節ナット(M8)上下4個緩めて下さい。(2本調節ボルトがあります。)
- 4) モーターベースを下方方向に下げてベルトを張り、下の調節ナットで調節して下さい。  
この時、ベルトを指で押さえて約10mmほど撓むようにして下さい。  
張り過ぎるとモーター過負荷を引き起こす原因になりますので注意して下さい。
- 5) ベルトを張りましたら、上の調節ナット(M8)2本を閉めて下さい。  
このとき、モーターが傾かないようにして下さい。
- 6) プーリカバーの取り付けネジ(M4)を閉めて下さい。

## 5.トラブル処理

### 5-1 機械が不調の場合

次のようなトラブルが発生したら対策に従って調整及び修理を行って下さい。

状態	原因	対策
石抜機が作動しない	・電源が入っていない	→ 電源及び配線を確認して下さい
	・操作が間違っている	→ 取扱説明書に従って操作して下さい (3-2参照)
	・サーマルプロテクターが作動する	→ コードリール・延長ケーブル等は使用しないで下さい → 電圧が降下している → ベルトがゆるんでいる
	・電源又は配線上で異常がある	→ 電源及び配線を確認して下さい
	・ベルトがゆるんでいる	→ ベルトを張って下さい (4-3参照)
	・石抜内部にホコリ・糠がたまっている	→ 取扱説明書に従って掃除して下さい
	・長時間放置した為、Vベルト硬化して作動しない	→ 手動にて主プーリーを回転させベルトを馴染ましてから運転して下さい
	・モーター不良	→ 購入店にご相談下さい
石抜に時間がかかる (能率が低下する)	・半搗米/老化米/クズ米などの米	→ 米の状態により能率は低下します
	・石抜金網に糠が付着している	→ 金網を掃除して下さい(4-1参照)
	・ホッパーシャッターに糠が付着している	→ ホッパーシャッターを掃除して下さい
石が取れない	・ベルトが緩んでいる	→ ベルトを張って下さい (4-3参照)
	・本機の水平が出ていない	→ 水平に設置して下さい (3-1参照)
	・石抜金網に糠が付着している	→ 金網を掃除して下さい(4-1参照)
	・米の供給が多すぎる	→ タンクシャッターを少し閉じて運転して下さい
	・米より比重が軽い物である	→ 軽石、アスファルトの破片、石灰岩などは取れません。



# 保証規定

## 1.保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。  
但し業務用は3ヶ月といたします。  
(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

## 2.保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認められた場合に限り、弊社特約販売店または指定サービス工場で当該部品の取り替え、または修理を無料で行います。

## 3.適用除外

保証期間内でも、次の場合には保証いたしません。  
(1)使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合。

- 弊社が規定する仕様の限度を超えて使用し故障した場合。
- 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- 弊社特約販売店、または弊社指定サービス工場以外で修理され、故障した場合。
- 故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレーム判定完了まで保管して下さい。)
- 本書のご提示がない場合。
- 本書に、購入日(年月日)・購入先(販売店名及び農協名)の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合。

購入年月日	平成	年	月	日
購入先 (販売店及び農協)				



◎この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

●お問合せは、ご購入先あるいは弊社の出張所、又は本社へ

## マルマス機械株式会社

本社・工場 富山県中新川郡上市町若杉2  
新潟工場 新潟県燕市小池5212-3

TEL 076-472-2233(代)  
TEL 0256-66-2411~2

<ホームページ> <http://www.marumasu.co.jp>

<e-mail> [mill\\_star@marumasu.co.jp](mailto:mill_star@marumasu.co.jp)

2017年12月改訂